

2023年11月29日 発行

# 旭岳ビジターセンターだより

発行：旭岳ビジターセンター スタッフ：塚越大輔  
〒071-1472 上川郡東川町旭岳温泉  
(Tel)0166-97-2153  
9:00～17:00/年末年始休業  
レンタル(長靴/歩くスキー/スノーシュー)、登山や  
自然情報案内、大雪山に関する展示、図鑑・資料等  
<https://www.asahidake-vc-2291.jp/>  
Facebookもやってます。

11月下旬 旭岳温泉の気候  
平均気温：最高-2℃/最低-8℃  
(2012～22年平均)  
天候の急変、路面状況に注意



## 【クロスカントリースキーコース状況】

※(11/29時点 積雪約60cm) コースに圧雪車が入れる積雪になりましたが、積雪の少ない場所では土が見えたり、まだ水たまりによって圧雪出来ない箇所があります。今後の天候状況で変わる可能性があります。



11/29 野営場付近



11/29 下り坂と水たまり

## 【ヒグマの冬眠と子育て～数字で読み解く国内最大級の陸上動物】

ヒグマは巣穴を作り、冬の食料欠乏を避ける為12月～5月の約6か月冬眠します。その間おしっこやうんちもしません。母熊はオスより遅く出てきますが、これは妊娠した母熊は絶食の冬眠中に出産・授乳をするからです。ヒグマの赤ちゃんは300-500gでとても小さく生れ冬眠中に母乳だけで育ちます。(子供が2頭だと大変。)母乳だけで5kgくらい大きくなり冬眠を終えると母熊から採餌の場所を教わります。子熊は2歳半になるとようやく親離れをします。

ここから直立するヒグマを想像してみましょう。ネコ科は爪を隠せますがヒグマは出来ません。爪の大きさは約7-13cm(日本男性の人差し指平均が約7cm)体長は180cm-2m、体重は150-200kgで最大400kg以上(ちなみに幕内力士の平均身長は185cmで体重は162kg)。ヒグマは、陸域では日本で一番大きな動物です。大雪山国立公園では、人がヒグマの生息地に足を踏み入れていることがある事を忘れてはなりません。



旭岳温泉街前の道路を横切る母熊と子熊2頭 (2023/9/16)

【参考文献】 (画像提供:ホテルディアバレー)  
・日高敏隆「世界動物大図鑑」(ネコパブリッシング)  
・昆野安彦・丹治茂雄「動物昆虫」(北海道新聞社)  
・酪農学園大学「ヒグマノート」(ヒグマの会)

## 【旭岳温泉街周辺休館情報】

### 【旭岳ロープウェイ運休情報】

**12月10日(日)まで休業。** 期間中は売店・食堂も休業となります。最新情報は旭岳ロープウェイHPをご確認ください。

【旭岳温泉街】 最新情報は直接宿泊施設へお問合せ下さい。

- ・ホテルディアバレー：冬季休業 ・K'Sハウス：11/30迄休館
- ・ヌタブカウシペ：冬季休業 ・ラビスタ大雪山：12/4-6・11-13休館

## 【エコツアー・イベント情報】

※詳しい内容・申込は旭岳ビジターセンターまでお問合せください。

### ■あさひだけ冬季イベント(参加費無料・レンタル代別途)

12/10(日)「はじめての雪遊び」(クロスカントリースキー体験)

12/16(土)「はじめての地図読み&スノーシュー」

### ■エコツアー(レンタル代別途)

12/24(日)「旭岳山麓巨木ウオッチツアー」2,500円

### ■旭岳温泉ネイチャーウォーク

【日時】開催日はホームページにて告知します  
【時間】13:30～15:00 【参加費】1,500円(傷害保険料込)  
【定員】6名(1名以上で実施) 【集合】旭岳ビジターセンター



ツアー情報は  
こちらから